

桐生繊維業界の実態

平成10年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

平成10年12月末現在

1.	調査対象団体数	18団体（桐生商工会議所繊維部会除く）	
2.	産地収入	(1) 生産高	323億1,911万円
		(2) 加工収入高	42億7,518万円
		(3) 販売高	117億102万円
		計	482億9,531万円
		※退会組合の収入(前年対比90%)	45億5,138万円
	計	528億4,669万円（前年対比(%) 86）	
3.	総組合員数	663事務所	
4.	総従業員数（家族従業員含む）	4,389人	
5.	一事業所当り従業員数	6.6人	
6.	一事業所当り生産販売加工高	7,284万円	
7.	年度別産地収入高		
	昭和54年産地収入	1,078億1,166万円	
	“ 55年	1,170億6,380万円（前年対比(%) 109）	
	“ 56年	1,110億8,757万円（ 95）	
	“ 57年	1,083億3,093万円（ 98）	
	“ 58年	1,023億634万円（ 94）	
	“ 59年	976億1,960万円（ 95）	
	“ 60年	917億1,760万円（ 94）	
	“ 61年	853億4,182万円（ 93）	
	“ 62年	804億5,848万円（ 94）	
	“ 63年	783億8,548万円（ 97）	
	平成元年	841億7,076万円（ 107）	
	“ 2年	931億1,687万円（ 111）	
	“ 3年	908億7,740万円（ 98）	
	“ 4年	1,001億1,232万円（ 110）	
	“ 5年	893億2,611万円（ 89）	
	“ 6年	845億3,438万円（ 95）	
	“ 7年	733億6,672万円（ 87）	
	“ 8年	678億3,478万円（ 92）	
	“ 9年	616億9,017万円（ 91）	

※ 本調査は、桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。

なお、団体の加盟及び脱会により調査の対象が変わるため、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組合員数 事業所	従 業 員 数					従 業 員 平均年齢
			従 業 員		家 族 従 業 員		計	
			男 性	女 性	男 性	女 性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	166	215 ^人	219 ^人	145 ^人	309 ^人	888 ^人	54 ^歳
	内地協議会	130	298	485	135	127	1,045	57
桐生織物産地元売組合		12	16	7	10	6	39	49
桐生染色協同組合		30	189	30	14	17	250	49
桐生繊維製品協同組合		56	263	751	15	25	1,054	41
桐生糸商組合		17	34	20	15	10	79	45
東日本編レース工業組合		17	41	25	25	19	110	45
桐生撚糸工業組合		23	3	22	27	25	77	60
桐生織物整経協同組合		23	2	4	22	20	48	64
桐生意匠協同組合		17	7	7	2	8	24	42
桐生紋紙協同組合		14	17	2	16	16	51	53
東毛ジャカード刺繍協同組合		10	17	27	11	20	75	44
桐生刺繍商工業協同組合		55	114	177	90	87	468	50
桐生金銀糸協同組合		12	24	14	0	2	40	49
桐生織物買継商友会		18	3	3	21	16	43	53
シルク・ルネッサンス桐生		(13)
桐生テキスタイル商業グループ		7	20	15	0	0	35	41
桐生織伝統工芸士会		(42)
桐生和服裁縫組合		56	0	59	1	3	63	
計		663	1,263	1,867	549	710	4,389	-

- 注 (1) 平成 7年1月13日群馬県綿スフ織物(有)解散し退会。
 (2) 平成 7年5月17日桐生織伝統工芸士会 入会。
 (3) 平成10年3月31日両毛輸出織物整染(有)解散し退会。
 平成10年3月31日両毛輸出スカーフ組合解散し退会。
 平成10年3月31日桐生織物商業組合解散し退会。
 (4) 平成10年4月 1日桐生和服裁縫組合 入会。

※ シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので計算に含まず。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所 属 団 体	生 産 高 (万円)	加 工 高 (万円)	計 (万円)	前 年 対 比 (%)	取引先区分(%)		
					県 内	県 外	
桐生織物協同組合	広幅協議会	723,900	60,200	784,100	84	0	100
	内地協議会	546,958		546,958	97	0	100
桐 生 染 色 協 同 組 合		151,037	151,037	92	58	42	
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合	1,242,736	53,465	1,296,201	85	0	100	
桐 生 刺 繍 商 工 業 協 同 組 合	117,080	131,438	248,518	82	2	98	
東 日 本 編 レ ー ス 工 業 組 合	300,000		300,000	69	58	42	
桐 生 撚 糸 工 業 組 合		10,832	10,832	70	60	40	
桐 生 織 物 整 経 協 同 組 合		8,736	8,736	68	100	0	
桐 生 意 匠 協 同 組 合	18,361		18,361	74	76	24	
桐 生 紋 紙 協 同 組 合	24,174		24,174	125	87	13	
東 毛 ジャ カ ー ド 刺 繍 協 同 組 合	58,702		58,702	97	0	100	
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ	200,000		200,000	74	100	0	
桐 生 和 服 裁 縫 組 合		11,810	11,810	89	85	15	
計	3,231,911	427,518	3,659,429	78	54	46	

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所 属 団 体	販 売 高 (万円)	前 年 対 比 (%)	取 引 先 区 分 (%)		
			桐 生 市 内	県 内	県 外
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	178,000	111	4	5	91
桐 生 糸 商 組 合	810,000	85	62	8	30
桐 生 金 銀 糸 協 同 組 合	80,000	84	88	6	6
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	102,102	77	0	0	100
計	1,170,102	78	50	7	43

4. 内需向、輸出向区分

所 属 団 体	内 需 向		輸 出 向		計 (万円)
	金 額 (万円)	割合 (%)	金 額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合 広幅協議会	618,716	79	165,498	21	784,214
桐 生 染 色 協 同 組 合	141,522	94	9,515	6	151,037
桐生繊維製品協同組合	1,296,201	100	0	0	1,296,201
桐生刺繍商工業協同組合	248,518	100	0	0	248,518
桐生金銀糸協同組合	80,000	100	0	0	80,000
桐生織物整経協同組合	8,736	100	0	0	8,736
桐 生 意 匠 協 同 組 合	17,669	96	692	4	18,361
桐 生 紋 紙 協 同 組 合	23,365	97	809	3	24,174
計	2,434,727	93	176,514	7	2,611,241

5. 各団体の取扱品目

所 属 団 体	品 目					割 合 (%)
	品 目					
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	服 地	インテリア・ 資 材	ネクタイ	そ の 他		
	55	31	8	6		
桐生織物協同組合 (内地協議会)	帯 地	服地・金襴	服飾工芸品	着 尺		
	72	11	10	7		
桐生織物産地元売組合	帯 地	着 尺	二次製品	服飾工芸	そ の 他	
	70	10	10	5	5	
桐 生 染 色 協 同 組 合	合 織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ウール等	絹		
	51	31	10	8		
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニ ッ ト	ス ー ツ	ジャケット	そ の 他	
	69	13	5	3	10	
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	レーヨン	綿・スフ	絹		
	57	25	12	6		

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	82	12	6		
桐生撚糸工業組合	合 織 撚 糸	人 絹 撚 糸	絹 撚 糸	金 銀 糸	
	62	35	1	2	
桐生織物整経協同組合	整 経				
	100				
桐生意匠協同組合	洋 反 金 蘭	インテリア	帯	そ の 他	
	22	30	26	14	8
桐生紋紙協同組合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
		100			
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワ ッ ペ ン	T シ ャ ッ ツ	ト レ ー ナ ー	ワンポイント 刺 繍	そ の 他
	48	19	6	9	18
桐生刺繍商工業協同組合	婚 礼 衣 裳	婚 礼 加 工	ブ ラ ウ ス ニ ッ ト 加 工	ハンカチーフ 加 工	雑 貨
	33	17	23	14	13
桐生金銀糸協同組合	金 銀 糸				
	100				
桐生織物買継商友会	帯	二 次 製 品	着 尺	そ の 他	
	86	8	3	3	
桐生テキスタイル 商 業 グ ル ー プ	広 幅 服 地				
	100				
桐生和服裁縫組合	きもの全般	長 襦 袢	コ ー ト ・ 羽 織	帯	そ の 他
	44	26	1	28	1

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物協 (内地協議会)	広幅織機	118	桐生撚糸協	イタリー式撚糸機	24
	並幅織機	1,057		合織式撚糸機	30
	小幅織機	190		アップツイスター	6
	自動・レピア織機	230		ダブルツイスター	6
	計	1,595		計	66
桐生織物協 (広幅協議会)	普通織機	1,267	桐生織物整経協	整経機	26
	自動織機(片レピア含)	300		ワインダー	1,100
	無杼織機	461		計	1,126
	計	2,028	桐生意匠協	デザインシステム	33
桐生染色協	常式噴射式染色機	124		拡大機	10
	高圧噴射式染色機	41		コピー機	14
	汎用染色機	42		計	57
	チーズ及びケーキ染色機	69	桐生紋紙協	デザインシステム	29
	計	276		カードパンチ	17
桐生繊維製品協	縫製ミシン	1,460		横影カットエンドレス	20
	プレス	68		ワンプンチ	15
	裁断機	75	計	81	
	計	1,603	桐生刺繍商工業協	横振りミシン	175
東日本編レース協	ラッセル機	104		多頭式刺繍機	860
	計	104		計	1,035
東毛ジャカード 刺繍協	コンピュータミシン	56			
	プレス	14			
	本縫いミシン及びその他の機械	29			
	計	99			

7. 最近の推移 (10年10月～11年2月)

団体名		品 目		受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
				増	変らず	下降	前年対比(%)	上昇	変らず	下降	前年対比(%)
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	80			○	82		
	内地協議会			○	80			○	82		
桐生織物産地元売組合			○		100		○		100		
桐生染色協同組合				○	93		○		100		
桐生繊維製品協同組合				○	85			○	85		
桐生糸商組合				○	85			○	85		
東日本編レース工業組合				○	95			○	97		
桐生撚糸工業組合				○	70			○	90		
桐生織物整経協同組合				○	65			○	90		
桐生意匠協同組合				○	60			○	90		
桐生紋紙協同組合				○	60		○		100		
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	95			○	95		
桐生刺繍商工業協同組合				○	70			○	70		
桐生金銀糸協同組合				○	80			○	90		
桐生織物買継商友会				○	70			○	70		
桐生テキスタイル 商業グループ				○	40			○	90		
桐生和服裁縫組合				○	90		○		100		
計		-	1	16	-	-	4	13	-		

8. 平成10年(1月～12月)の状況、事業概要及び今後の課題

● 桐生織物協同組合

・状況、事業概要

国内景気のますますの停滞によって、個人消費の低迷、輸入品との競合等による売上の減少、小ロット受注、短納期発注等による収益の減少で、前年に増して厳しい状況で推移した。

・今後の課題

市場との情報を密にした商品開発、コスト面で他産地に比べて割高感のある点の改善、新市場開拓、業界全体が連携した産地づくりへの取り組み。

● 桐生染色協同組合

・商品、消費者ニーズの変化について

前年同様、後染加工が主流、当業界は糸染色が主力であることから見込み生産を行うことができず、短サイクル、小ロット化が著しい中、その対応が難しい。

・状況・事業概要

平成10年の労働者の賃上げ額も少なく、また、企業の合併等によるリストラもあり、消費者の生活防衛姿勢は強まっている。総務庁の発表によると住居費、被服費の支出が前年比過去最大の落ち込みになっている。

当染色業界も例外でなく、加工数量全額共に大幅に減少した。特に輸出向織物に加工される練絹糸の減少が著しい。

なお、加工代金の引き下げの要請も一部であったが横ばいに推移した。

・今後の課題

後続経営者難から、企業数は減少傾向にある。技能労働者の高齢化も著しい。若年労働者の確保、及び養成が急務である。

● 桐生繊維製品協同組合

・商品、消費者ニーズの変化について

専門店は、すでに客不足で勿論売上は減少、デパートも人は動くが売上にならず、ごくわずかに新しい傾向のものが出れば、それもぼつぼつ売れる程度。

5%の消費税がすべての流通での障害となっている。

・状況、事業概要

前年はともかく、前年同期比が少し下まわったと思われたが後半から年末にかけては受注が減り工賃も値下がり、期待した後半が足を引っ張って越年となった。消費税が5%になった事が、以前の3%の導入時と環境が全然違うためと思われる。

また、銀行・証券の問題が重なり不況の元況となったのであろう。

・今後の課題

我々は、製造直売として指向して進むが、他業種に転換するかしか無いが、前者は既にこの方向に向かって実施しているが、在来のアパレルが全力で売ろうとしても中々売れないと言う状況の中で考えると二の足を踏む声も聞こえてくる。

現在の特に悪い市況が変わらない限り、何とも方策はない。

● 桐生織物産地元売組合

・商品、消費者のニーズの変化について

日本経済全体の構造不況の中、贅沢品である着物の需要は年々落ち込んでいる。

しかしながら、成人式用の晴れ着・夏まつり用の浴衣については、若い世代に人気があり低価格のものはよく売れている。

高年齢層の着物は趣味のもので目新しいもの以外は売れない状況にある。

・状況、事業概要

全国の呉服業界は不況の底にあり、平成10年も前年比80%位の売上げしか確保出来なかった。

桐生産地については、リーズナブルな価格で、新しい商品の供給ができることから、売上げの減少も最小限にとどめ、これからは上昇していくと思っている。

・今後の課題

取り引き面については、百貨店、ナショナルチェーン店、専門店の売上げの低迷、支払いの遅延（売上げ仕入）等の原因により、商社、問屋、産地にそのしわ寄せがきている。

平成11年も日本橋（東京）や室町（京都）の商社の倒産が続くと思う。取り引き条件の改善が急務である。

生産面については、西陣、博多、丹後等の産地は50%以上の減産をしている。桐生も減産はしているが、若い世代にマッチした新しい色、柄の製品を安定した価格で生産すれば市場は開けていく。桐生産地としては、委託商品は極力減らしていくべきである。

桐生糸商組合

・商品、消費者ニーズの変化について

一年間を通して消費不振により売上げ低迷の1年でした。

・状況、事業概要

98年は長引く不況から個人消費の冷え込みが続く中、天候不順による97/98秋冬物の販売不振、その後も金融機関の貸し渋りや春夏物の不振で中小零細企業者を中心に倒産が多発したが10月以降は政府が金融機関の貸し渋り対策として打ち出した信用保証協会の特別枠の利用で資金繰りが緩和され極めて平穏となった。

・今後の課題

国内の消費低迷が続き輸出に活路を求めたい。

グローバル化に伴い国際競争力をつけることが国内での生き残りにつながると思う。

● 桐生刺繍商工業協同組合

・商品、消費者ニーズの変化について

長引く不況のため、受注販売ともに昨年に続き減少、最近の状況でも相変わらず続いております。

急速に進む流通の構造の変革、価格破壊が進んでおりますが、付加価値産業の刺繍業が現状についていけない状態です。

・状況、事業概要

消費税の引き上げによる消費の低迷と金融不安とで買い控えられており、依然低迷しております。

需要の変動と市場の変化に対応する製品をつくること。

供給者側による供給改善策や技術開発などが課題となるでしょう。

・今後の課題

(1) 零細企業が多いため、情報交換、親睦の場としているが、不況がつづくため、組合加入者の脱会をくい止めることが現状です。

(2) 技術者の養成等、技術研修を行う。

昨年引き続き群馬県繊維工業試験場において群馬県中小企業技術者研修（高級刺繍技術課程）を県の協力を得て、講師は当組合の大澤紀代美氏（群馬県技術アドバイザー、卓越技能士）により引き続き開催予定。

(3) 展示会や宣伝活動（例えば紙上活用）等、積極的に展開する。

(4) 青年部（後継者）の養成、指導。

桐生テキスタイルプロモーションショー事業、FW事業への参加等。

(5) 青年部設立10周年事業の開催。

● 桐生金銀糸協同組合

・商品、消費者ニーズの変化について

内地向 金銀糸の高い物が特に売れなくなる。

輸南向 金銀糸の使用仕方の変化及び流行により飽きてきている。
使用量が少ない。

・状況、事業概要

組合員13社から1社減少、今後も減少傾向にある。

・今後の課題

織物縮小になる。従って金銀糸の使用量減少になっている。

(1) 同業者間で商品のやり取り。

(2) 価格競争をしない。

(3) 新製品の開発。

(4) 新分野への挑戦。

● 東日本編レース工業組合

・状況、事業概要

業界全般に厳しい1年間であった。

インテリア関係では、カーテンレース地を中心に前年対比25%~35%のダウンであり価格も下落し低迷状態が継続している。

衣料レース関係は、細幅、広幅ともに厳しい推移で、特に細幅レースはカーテンレース以下の状況です。

マフラー、スカーフ等は、低調推移前年対比10%~15%のダウン、資材関係も低調で10%位のダウンと思われます。

・今後の課題

まず新製品の開発に努力すること。
試作製品を多く試編を年間通して行う。
企業間の価格競争を少なくする。
大量生産型からの脱皮を考える等課題は大である。

● 桐生捻糸工業組合

・状況、事業概要

加工量は全て減少。

● 桐生織物整経協同組合

・状況、事業概要

上半期は順調に見えたが、7月～8月頃から機屋さんの在庫が減少しないために新しい製品の発注が非常に少ない。

・今後の課題

結局は、織元の新製品の開発と流行を生み出す様な努力をして消費者の感心を桐生地区に向けて桐生全体の元気を出していく外に方法がない。船頭が元気を出せば我々加工業者も勇気とやる気を出すと思います。

● 桐生意匠協同組合

・状況、事業概要

産地受注が40%減少しているため、苦しい状況である。
すべての取扱品目が減少して、洋反・輸出関係が特に目立つ。
高齢化により、事業所数も少なくなっている。
後継者も育たない。

・今後の課題

ますます組合員の団結、お互いの助け合い努力が必要となってきた。
早い景気の上向きを望んでいる。

● 桐生織物買継商友会

・商品、消費者ニーズの変化について

全般的に和装人口の減少が続いている。
唯一、ゆかたが健闘しているだけである。

・状況、事業概要

通販や一部のブランド商品に動きが見られるが、従来の問屋・小売店関係のルートはますます減少している。得意先の開拓や商品の開発がこれからの事業の発展に大きく影響するものと思われる。

● 桐生テキスタイル商業グループ

・商品、消費者ニーズの変化について

先ず第一に高級品、単価の高いものが受け入れられない。

採算的には厳しい状況である。

納期が短い。

数量が少ない。

ファッション流行のサイクルが短い。

・状況、事業概要

一年を通して、期近、小ロットの引き合いの中、過酷な一年でした。

受注額も前年比で30%~40%下降し、先行不透明な中で一年でした。

・今後の課題

桐生産地に限らず、全国産地共通の問題点でしょうが

- (1) 情報及び生産技術の全産地共通性と普遍化した中での競合の中、抜き出するための課題が一番大きい問題と思う。
- (2) 流通段階の中、今後のポジションによる介在メリットの確認と対応がそれぞれの個々の特色を創り出す必要性が急務である。
- (3) 産地一丸となってコスト研究と対応努力。

● 桐生和服裁縫組合

・商品、消費者ニーズの変化について

お客様の仕立てに対する要望は特に変わりないと思われるが、仕立ての善し悪しについては大変厳しいものがある。仕事量は減少気味である。

・状況、事業概要

きもの先行き不振から生まれた安い工賃の海外縫製品仕事量確保のための低加工料「競り込み」が見られ、この影響で零細な和裁業者の生活を脅かし収入の減少を招き、また、将来の不安をせきたてております。業界は減収に悩んでおります。

・今後の課題

- (1) 前記のような状況により、景気が回復したとしても、以前のように工料改正ができるのか、また、内職意識が非常に強いこの業界から和裁業として永続するには生活の安定が第一である。
- (2) 組合員の高齢化と仕事量の減少により、会員の減少も見られるが、和裁技能者の養成を図り、若手会員の加入促進により、組合の活性化を図っていきたい。
- (3) きもの海外縫製対策事業の一環として作成された「和裁士による手縫いのツール」の使用を積極的に浸透してゆきたい。
- (4) きもの人口増強は、まず会員自らが「縫って、着て、着せられる」をテーマに継続的に取り組んでゆきたいと考えております。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

(平成11年3月現在)

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐生織物協同組合	佐藤 富三	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生商工会議所繊維部会	塚本 祐平	" 錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生染色協同組合	塚本 祐平	" 永楽町6-6	0277-22-9661
桐生繊維製品協同組合	関口 幸三郎	" "	0277-46-2310
桐生織物産地元売組合	木村 俊一	" 相生町2-230-1	0277-53-5131
桐生糸商組合	川村 治朗	" 仲町3-15-6 川村(株)内	0277-44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	栗原 光好	" 永楽町6-6	0277-22-7919
桐生金銀糸協同組合	今西洋 右	" 巴町2-1832 桐生尾池産業(株)内	0277-22-8539
東日本編レース工業組合	小堀 文男	" 永楽町6-6	0277-22-3847
桐生撚糸工業組合	田中 堯	" 稲荷町4-29 新井撚糸工場内	0277-44-9431
桐生織物整経協同組合	高久 勇雄	" 境野町6-304 (有)タカク内	0277-45-0851
桐生意匠協同組合	大川 作太郎	" 永楽町5-1 桐生織物(株)内	0277-43-2511
桐生紋紙協同組合	岩崎 万雄	足利市山川町538-1 (有)岩崎紋工社内	0284-41-5764
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎 英三	" 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木 軍次	" 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木島 清	" 永楽町5-1 桐生織物(株)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	新井 實	" 永楽町5-1 桐生織物(株)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	林 ヨシ	" 永楽町1-44	0277-22-3008

事務局 財団法人 桐生地域地場産業振興センター内
〒376-0024 桐生市織姫町2番5号
TEL(0277)46-1011(代表)
FAX(0277)46-1014